

主要産地における令和4年産水稻の生育状況等について 第3報 (令和4年6月9日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和4年6月9日)

道府県	区分	生育状況等		(参考)	
		育苗・田植え状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋)	技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)		
北海道			<p>【生育状況(6月1日現在)】</p> <p>(全道) 移植作業は平年並に終了した。(北海道農政部 6月7日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、移植作業も平年並に終了した。(空知総合振興局 6月7日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並。高温多湿により活着は良好。(石狩振興局 6月7日付)</p> <p>(後志) 遅延は軽1日。(後志総合振興局 6月7日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月7日付)</p> <p>(渡島) 生育は平年並に推移している。(渡島総合振興局 6月7日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並で推移。(檜山振興局 6月7日付)</p> <p>(上川) 生育は平年並に推移している。(上川総合振興局 6月7日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月7日付)</p> <p>(オホーツク) 移植作業は平年並に終了した。生育はやや進んでいる。(オホーツク総合振興局 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>6月17日頃から、かなりの高温。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>令和4年度品種構成等の情報</p> <p>・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。(農林水産省 3月16日)</p> <p>(出典資料は以下同じ)</p>
	(移植・生育)				
青森			<p>・6月5日現在の田植え進捗は、県全体で100%となった。</p> <p>・県全体の田植え終りは、平年より1日早い5月28日となった。(青森県 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>6月18日頃から、かなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、イネミズゾウムの発生が「多い」と予想される。(農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「つがるロマン」及び「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和4年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
	(移植)				
岩手			<p>【5月25日現在】</p> <p>・県内の田植え盛期(50%終了)は、5月17日頃で平年並み。</p> <p>・育苗前半の4月の気温が高かったことから、地域や施設によっては第1葉鞘長が長くなる傾向がみられたものの、東北は概ね平年並み。乾物量は東部・北部で平年並み、北上川上流・下流で平年より大きく、総じて充実度の高い苗となっている。</p> <p>・田植え盛期の5月中旬以降も気温が高く推移したことから、活着は平年並みに良好となっている。(岩手県 5月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>6月18日頃から、かなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、イネミズゾウムの発生が「多い」と予想される。(農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「能河のすく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
	(移植)				
宮城			<p>【5月26日現在】【県全体の平均】</p> <p>・5月26日現在の県全体の田植え進捗率は98.1%となっている。なお、田植え終りは5月22日であった。(宮城県 5月27日付)</p> <p>(栗原) 【6月1日調査】・田植え日が前年より遅いことも影響し、前年と比較し草丈は短く、茎数も下回っている。(宮城県栗原農業改良普及センター 6月2日付)</p> <p>(気仙沼・南三陸) 【水稻生育調査ほの生育概況】管内の生育調査ほにおける苗数は良好であり、適正な播付本数(4～5本/株、19～21株/㎡)を確保している。移植後の活着は順調であり、分けつも確認され始めている。(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>6月18日頃から、かなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。</p>
	(移植・生育)				
秋田			<p>(秋田) 田植え作業が終りを迎えている。(6月3日付)</p> <p>(雄勝) 田植え終りは、平年より2日早い、5月29日。(6月3日付)</p> <p>(平鹿) 田植え作業の終期(進捗率95%)は平年並の5月30日。(6月3日付)</p> <p>(由利) 田植え作業は約90%終了。(6月3日付)</p> <p>(山本) 水稻の田植え終りが5月30日現在で98.8%(平年98.6%)となっている。(6月5日付)</p> <p>(仙北) 初期生育は概ね順調に推移している。(6月3日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>6月18日頃から、かなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>向こう1か月、イネミズゾウムの発生が「多い」と予想される。(農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
	(移植・生育)				
山形			<p>(平坦部「はえぬき」の生育) (5月31日現在)</p> <p>・草丈は平年よりやや短く、茎数は平年より多く、葉数は平年並み。</p> <p>(「つや姫」の生育) (5月31日現在)</p> <p>・適期内に田植えが行われた。現在の生育は、草丈は平年よりやや短く、茎数は平年並み、葉数は平年並み。(山形県 5月31日付)</p> <p>(生育) (平坦部「雪若丸」の生育) (5月31日現在)</p> <p>・草丈・茎数は前年並み、茎数は多い状況。(山形県 5月31日付)</p> <p>(鶴岡・田川) (5月31日現在)</p> <p>・5月13日前後までに移植した田では生育(葉数、分けつ、葉色)が概ね順調だが、移植の遅い圃場などでは生育の進みが鈍くなっている。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>6月18日頃から、かなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が増加していたが、飼料米への転換が増加していることから比率はやや低下している。</p>
	(生育)				
福島			<p>【5月10日現在】</p> <p>・移植栽培の移植作業は、始期(5%終了)が4月8日(平年並-1日)、盛期(50%終了)が4月15日(平年並-1日)、終期(95%終了)が4月24日(平年並-1日)となった。苗の生育は概ね順調。4月下旬より田植えが始まっている。(福島県 5月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>6月18日頃から、かなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が増加していたが、飼料米への転換が増加していることから比率はやや低下している。</p>
	(育苗・移植)				
茨城			<p>【5月31日現在、水戸市】</p> <p>(5月2日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で平年より2日遅く、「ふくまるSL」で3日遅く、「コシヒカリ」で平年並だった。</p> <p>(5月10日移植) ・「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は、平年より1日早かった。(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月2日付)</p> <p>(生育) 【5月26日現在、龍ヶ崎市】</p> <p>(4月27日移植) ・主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」、「ふくまるSL」及び「コシヒカリ」で平年より3日遅い、(5月6日移植) ・「コシヒカリ」主稈葉数の展開からみた生育は、平年より2日遅い。(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】</p> <p>関東甲信越地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信越地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>向こう1か月、綿葉枯病の発生が「多い」と予想される。(農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。</p>
	(生育)				

<p>栃 木</p> <p>(生育)</p>	<p>【「コシヒカリ」「とちぎの星」(5月26日調査結果)】</p> <p>・草丈・莖数・葉令・葉色ともおおむね平年並。(栃木県農政課経営技術課 6月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>向こう1か月、結葉枯病の発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。</p>
<p>千 葉</p> <p>(生育)</p>	<p>【6月1日現在】</p> <p>・5月下旬は日照時間がやや多く、生育の遅速(葉齢の進み)は平年並で推移している。 ・生育量は回復傾向だが、各品種とも平年と比べて莖数は少なめで葉色はやや淡く推移している。 ・例年より、遅元降雪の発生している品種が多く見られる。 ・一部の品種では莖数確保が遅れているが、「ふさおとめ」「ふさこがね」は中干しを始める時期に入っている。</p> <p><葉齢の進み(平年比)> 「ふさおとめ(4月20日種)」並、「ふさこがね(4月20日種)」並、「コシヒカリ(4月20日種)」並、「コシヒカリ(5月1日種)」並、「粒すけ(4月20日種)」並。 (千葉県 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品种「粒すけ」の本格栽培が開始</p>
<p>新 潟</p> <p>(生育)</p>	<p>【5月30日現在の県内全域の生育概況】 「コシヒカリ」指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「並」、莖数は「多い」、葉数の進みは「並」。 「新乃助」指標値に比べ、草丈は「短い」、莖数は「並」、葉数の進みは「やや遅い」状況。 「こしいぶき」・指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「並」、莖数は「少ない」、葉数の進みは「並」(新潟県 5月31日付)</p> <p>【5月30日現在】(コシヒカリ) (岩 船)5月第2半旬より高温で推移したため早稲刈の進捗が急増している。 5月中旬以降田植えは遅くは初期分げつが見え始めた。(村上農業普及指導センター 5月30日付) (十日町)管内の田植え遅れは、前年より2日遅い5月25日頃。稲刈は「やや遅」になっている。 5月中旬に移植されたほ場では分げつが発生し初期生育は順調。(十日町農業普及指導センターほか 5月30日付) (糸魚川)5月上中旬植えのほ場は、移植後の好天により生育は順調に進んでいる。また、ワキや表層剥離の影響も少なく、分げつは順調に増加している。(糸魚川農業普及指導センター 5月30日付) (佐 渡)生育は目標値より「やや早く」莖数も多くなっている。ただし一部では植え傷み等により生育が停滞しているほ場もある。 (佐渡農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(新発田)草丈、やや長い。莖数、多い。葉数、やや早い。(新発田普及指導センター 6月1日付) (三 条)草丈は長い。莖数は指標値並。(三条農業普及指導センター 5月30日付) (魚 沼)初期生育は良好。(魚沼農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>【5月30日現在】(新 潟) 各品種の莖数は指標値比で、「コシヒカリ」多、「こしいぶき」多、「新之助」少。 今後、気温が高い傾向が続くことから、莖数の急激な増加が見込まれる。(新潟農業普及指導センター 5月30日付) (巻) 「コシヒカリ」「こしいぶき」生育は指標値より進んでおり、莖数はかなり多い。(巻農業普及指導センター 5月30日付) (上 越) 「コシヒカリ」の生育は、5月の高温多湿の影響で莖数は指標より並～やや多で推移。 「こしいぶき」の生育は、田植えの早晚に関わらず比較的順調。(上越農業普及指導センター 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県でも新品种「新之助」(晩生型)の作付拡大を推奨している。</p>
<p>富 山</p> <p>(生育)</p>	<p>【本田での生育状況(6月7日)】</p> <p>「コシヒカリ」：平年に比べ、草丈、葉齢、葉色は並、莖数は多くなっている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや短く、莖数はやや多く、葉色は並となっている。</p> <p>「てんたかく」：平年に比べ、草丈はやや短く、莖数は多く、葉齢は0.2葉進み、葉色はやや淡くなっている。 葉齢を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや短く、莖数は並、葉色はやや淡くなっている。</p> <p>「てんこもり」：平年に比べ、草丈はやや短く、莖数はやや少なく、葉齢、葉色は並となっている。</p> <p>「富富富」：近年に比べ、草丈、葉色は並、莖数はやや少なく、葉齢は0.2葉遅れている。 葉齢を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈、莖数、葉色は並となっている。 (富山県 6月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿で品質が安定している「てんこもり」及び「てんたかく」の県のトップブランドに位置づけている「富富富」が増加傾向にある。</p>
<p>石 川</p> <p>(生育)</p>	<p>【6月8日調査】【本田の生育】</p> <p>(草丈) 「コシヒカリ」平年比87～121% (県平均100%、加賀：99%、能登：101%)、と平年および前年並。 「ゆめみづほ」平年比83～117% (県平均95%、加賀：93%、能登：102%)と平年に比べてやや短く、前年に比べてやや長い。 「ひやくまん穀」近年比88%～101% (県平均96%、加賀：96%、能登：94%)と近年に比べてやや短く、前年並。</p> <p>(莖数) 「コシヒカリ」平年比56～106% (県平均103%、加賀：109%、能登96%)と平年並で前年に比べて多い。 「ゆめみづほ」平年比58～149% (県平均103%、加賀：103%、能登103%)と平年並で前年に比べて多い。 「ひやくまん穀」近年比96～121% (県平均107%、加賀：107%、能登107%)と、近年並で前年に比べてやや多い。 (石川県農林総合研究センター 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。</p>
<p>福 井</p> <p>(生育)</p>	<p>・4月末から5月初めの低温で早生品種の初期生育は不良だったが、5月中旬からは晴れ続き気温が高かったため、回復してきている。 (福井県 6月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハナエ子セン」を中心とする品種構成である。なお、新品种である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
<p>長 野</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「黒さやか」の導入を推進している。</p>
<p>滋 賀</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</p>

兵庫	<p>(6月1日現在)</p> <p>(県北) 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(県南) 現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫県 6月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。</p> <p>・「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。</p>
岡山	<p>・中北部地帯の田植え時期、生育概況は概ね平年並である。</p> <p>(岡山県病害虫防除所 5月25日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コシヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</p>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月、いもち病発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。</p>
高知	<p>【早期稲(分けつ期)】 ・気温はやや低いものの、好天に恵まれ、生育は概ね順調に経過している。</p> <p>【普通期稲(育苗期～活着期)】 ・移植適期は平年並の5月下旬頃になる見込みであるが、降水量が少ないので、中山間地域の一部では遅れているほかも見られる。 ・育苗中には苗の軟弱徒長や一部ではかき病の発生が見られていたが、移植後の生育は概ね順調である。</p> <p>(高知県病害虫防除所5月月報 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月、いもち病発生が「多い」と予想される。 (農林水産省 6月8日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</p>
福岡	<p>【5月17日現在】</p> <p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】 ・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了。(最盛期は4月下旬) ・平年よりやや高い気温で経過しており、活着は順調。</p> <p>【普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】 ・現在、6月上中旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月上中旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。「実りつくし」の田植えは6月中下旬の見込み。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 5月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「実りつくし」の拡大を推奨している。</p>
熊本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。</p> <p>・「くまさんの隣き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。</p>
宮崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】</p> <p>(生育) 早期水稲は分けつ期(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みさ358」への作付誘導が進められている。</p>
鹿児島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月11日～7月10日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和4年6月5日 15時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道農政部 6月7日)、
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月7日)、
農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月7日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月7日)、
6月5日現在田植進捗状況(青森県「攻めの農林水産業」推進本部 6月7日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県 5月26日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月8日閲覧)、
令和4年産水稲の田植状況について(5月26日現在)(宮城県みやぎ米推進課生産販売班 5月27日)、
令和4年産気仙沼・南三陸稲作情報第3号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月1日)、
栗原の稲作通信令和4年第1号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月2日)、
米づくり技術情報No.3(山形県農産ブランド推進課 5月31日)、
雪若丸技術情報No.2(山形県農産ブランド推進課 5月31日)、
おいしい米づくり情報第6号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月3日)、
主要な農作物の生育情報令和4年度第2号(福島県農林水産部 5月19日)、
農研連報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月1日)、
農研連報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月2日)、
令和4(2022)年度水稲生育診断予測事業速報No.1(栃木県 6月9日)、
水稲の生育と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月3日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第1号)(新潟県 5月31日)、
R4岩船米生育速報(5月30日現在)(村上農業普及指導センター 5月30日)、
令和4年度糸魚川売れる米づくりコンヒカリ生育情報No.1(糸魚川農業改良普及指導センター 5月30日)、
令和4年産新発田地域水稲生育速報No.1(新発田農業普及指導センター 6月1日)、
水稲生育速報No.1(巻農業普及指導センター 5月30日)、
FAX稲作情報No.3(三条農業普及指導センター 5月30日)、
コンヒカリ生育情報第1号(魚沼農業改良普及センター 5月30日付)、
コンヒカリ・こしいぶき生育速報No.1(5月30日)(上越農業普及指導センター)、
令和4年度稲作生育速報No.1(佐渡農業普及指導センター 5月30日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センター「まか」 5月30日)、
稲作速報No.1(新潟農業普及指導センター 5月30日)、
TACS情報第2号(富山県 6月7日)、
令和4年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、
稲作情報No.5(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月3日)、
令和4年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県 6月6日)、
令和4年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月25日)、
病害虫発生予察情報について(高知県病害虫防除所 6月7日)、
福岡県主な農産物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月17日現在)、
令和4年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月9日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月9日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月9日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月9日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月9日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月9日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月9日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月9日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月9日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月24日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月24日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月24日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月24日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月24日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月24日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月24日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(6月9日気象庁)

令和4年度 病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月8日)、
令和4年産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月16日)